

自己評価結果公表シート (2020年度)

学校法人 明和学園 明和幼稚園

1. 本園の教育目標

明るく、正しく、和やかな人間形成を目指し、自立の精神を以て何事にも丁寧を経験していくことを方針としている。楽しいこと、悲しいこと、しんどい事。それらの一つひとつを「ていねいに、ていねいに」経験を積んでいくように、教育計画を立案し取り組む。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもの心身の健やかな成長の為に、前年度の反省を生かしながら

- ・指導計画を見直し改善していく。
- ・職員の共通理解を深めるとともにICTソフト（れんらくアプリ）により業務効率の向上を図る。
- ・園と家庭とのさらなる連携強化を図る。
- ・コロナウィルスの情報を集め、子どもの安全を保障するための方策を講じる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画	過去の指導案の見直しや話し合いによって、子どもの発達や季節に応じた年間計画、月案、週案を作成・確認し、保育に取り組んでいる。特に保育内容によって効率的に保育室・ホールを使用できるよう時間割を設定している。
職員の共通理解	毎朝の朝礼や保育終了後の話し合いを実施することにより、保育目標を確認するとともに、園児の状況を伝え合うことで、園児一人ひとりの現在の様子を全員が把握するよう努めている。また、「れんらくアプリ」により業務効率の向上に努めている。
家庭との連携	4月、5月の休園中に、毎週職員による動画配信をし、家庭と園との繋がりに努めた。また、定期的に担任が各家庭に電話をし、健康状態の確認をするとともに、保護者の不安解消に努めた。 2学期の個人懇談会では、保護者から園児の家庭での様子を聞き、園でのエピソードを通じて、保育方針の説明や協力をお願いする。 毎月のクラス委員さんとの話し合いで情報交換をしながら、保護者のニーズを聞くようにしている。
安全管理	防災指導計画に沿って、安全教育や避難訓練を実施し、子どもの安全意識の向上に努めている。

	<p>登降園時には、必ず職員が2名で通用門と駐輪場に立ち、園児、保護者の安全に気を配っている。</p> <p>新たに、防犯カメラを3台設置し、園児の安全を確保している。</p> <p>また日頃から園内の安全点検をして、園児が怪我をしないように（危険の排除、怪我をした際の記録・原因究明・再発防止策）を講じている。</p>
--	--

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での変則的な保育、行事ではあったが、定期的な会議での話し合いで効率的に行事の準備をし、日々の保育の振り返りをして、共通理解を深め、保育内容の更なる向上に努めた。 ・行事の変更では、子どもたちが喪失感を持たないように、安全対策をしながら、楽しい時間を過ごせるように努めた。保護者からは、時間・空間を空けたことにより、かえってゆっくりと過ごせた、との意見もきかれた。 ・運動会や、発表会では園児のダンスや合奏などを保護者へ披露するとともに、担任が実際のエピソードを伝えたり、協力要請することによって、保育方針への理解を深め、ボランティアなどにも積極的に協力してもらえた。 ・定期的な避難訓練をしているので、「おはしもの約束」（おさない、走らない、しゃべらない、戻らない）を覚えて、しっかり言えるようになっている。
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
職員の共通理解	早朝会議と週1回の会議を今後も続けていくとともに、LINEを使って、職員全員の共通理解を深め、準備にかかる負担軽減を図る
家庭との連携強化とニーズの把握	今後も保護者会や毎月の園だより（明和だより）、れんらくアプリ、ホームページなどで、保育内容や教育方針について、わかりやすく伝えるとともに、子どもの日々の様子を伝えたり、聞いたりしながら、家庭との連携強化に努める。また、クラス委員会を通して保護者のニーズや満足度を把握し、保育や行事の内容を考える際の検討材料にしていく。
安全管理	定期的な避難訓練を今後も継続実施し、更なる防災意識の向上を図るとともに、防災用品の点検、補充など、安全対策を図っていく。 また、落ち着いた環境を作るために、声掛けの仕方や先生の配置を話し合っていく。

6. 学校関係者の評価

職員が真摯に自己点検・評価に取り組んでいる様子が伺える。今後も保護者との連携と情報交換を密にしながら、安心安全で子どもが楽しく取り組める保育を実践できるように、努力を続けてほしい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。